

町田市南第一小学校地区
新たな学校づくり基本計画検討会
報告書（案）

2023年1月

南第一小学校地区 新たな学校づくり基本計画検討会

はじめに

2021年5月に町田市教育委員会が策定した「町田市新たな学校づくり推進計画」では、教育環境の改善や、町田市全域の通学区域の見直しが示されました。南第一小学校は、2022年度に新たな学校づくりの検討を開始し、2027年度から新校舎工事、2030年度に新校舎が完成する予定です。

本校は2023年度に創立150周年を迎える市内でも最も歴史のある学校の一つです。この長い学校史において、常に地域の方や保護者の方々に見守られ、支えてきていただきました。今も本校学区には親子何世代にも渡り、本校の卒業生だという方々が居住されています。地域でお会いする方に「南一小的の卒業生です。」とご挨拶いただくことも多くあり、母校南第一小学校をいつまでも大切に思っていることが伝わってきます。一方、時代とともに地域の宅地開発が進み、新たな住民を迎え、本校の児童数は年々増加傾向にあります。

新たな学校の開校に向けては、仮設校舎および新たな校舎の整備内容、引っ越しにあたり引き継ぐもの、施設の運用面など、本校の歴史や地域の実情に即して検討すべき課題があります。また、2027年度から3年間の仮校舎における教育活動では、中学校との様々な連携・調整も必須となってきます。2022年3月に市が開催した、新たな学校づくりを始めるための意見交換会でのご意見・ご要望も含めて、新たな学校の開校に向けて必要な事項を検討するため、2022年5月に、保護者、学校協力者、8地域の方、教員を委員とした「南第一小学校地区新たな学校づくり基本計画検討会」が立ち上がりました。同年5～6月にかけては、在校生や保護者、地域の方のご意見を把握するため「新たな学校づくりに関するアンケート」を実施しました。アンケートには、本校の特色として新たな学校に残したいものへの強い思い、新たな学校への大きな期待やこれまでの学校にはない視点などが多く寄せられました。このアンケートを踏まえ、新たな学校に通う子どもたちのために検討を重ねてきました。本校の特色を大切に守りながらも、これからの町田市が目指す教育のあり方を具現化し、町田の子どもたち、南第一小学校の子どもたちにとって、夢ある未来につながる学校の姿を検討してきました。創立150周年という大きな節目を現在の慣れ親しんだ校舎で迎えながら、新たな学校として2030年度から出発する本校の姿に子どもも保護者も地域も、そして教職員も大いに期待をしています。

本報告書は、検討会での議論の内容や、新たな学校づくりにおいて大切にしていきたいこと、さらなる検討していただきたいことなどをまとめましたので、ここに報告いたします。

2023年1月

南第一小学校地区 新たな学校づくり基本計画検討会

会長 安東 深雪

目次

1	南第一小学校地区 新たな学校づくりの概要	3
(1)	南第一小学校地区の概要	3
(2)	新校舎建設スケジュール	3
(3)	仮校舎の位置	3
(4)	新たな通学区域	4
(5)	新たな学校の建設地	4
(6)	新たな学校の運用体制について	5
2	新たな学校の施設整備内容について	7
(1)	新たな学校の施設整備に向けて	7
(2)	施設整備に関するキーワード	12
3	新たな学校に引き継ぎたいもの・こと	13
(1)	南第一小学校の歴史	13
(2)	引き継ぎたいもの・ことの検討	13
(3)	引き継ぐ方法と選別	14
(4)	引き継ぎたいもの・ことのまとめ	15
4	新たな学校における育てたい子ども像	16
(1)	教育課程・教育目標とは	16
(2)	育てたい子ども像の検討	16
(3)	育てたい子ども像の実現に向けて	17
5	通学路の安全対策・通学の負担軽減	18
(1)	通学路の安全対策	18
(2)	通学の負担軽減	21
6	新たな学校の学校名	23
(1)	新たな学校づくりにおける学校名の検討	23
(2)	学校名の変更の有無	24
7	新たな学校づくりに関連した情報	25
(1)	学校が担う避難施設機能（防災課）	25
(2)	学童保育クラブ（児童青少年課）	25
(3)	特別支援学級（教育センター）	26
8	参考	27
(1)	南第一小学校地区 新たな学校づくり基本計画検討会	27
(2)	新たな学校づくり基本計画検討会の経過	29
(3)	検討内容補足資料	30

1 南第一小学校地区 新たな学校づくりの概要

南第一小学校地区の新たな学校づくりを検討するにあたり、町田市教育委員会における新たな学校づくりの基本情報を共有しながら検討する必要があったため、以下の内容を踏まえながら検討しました。

(1) 南第一小学校地区の概要

南第一小学校は、2025 年度に工事を開始し、2028 年度から、新校舎を使用開始します。新校舎使用開始時の児童数の推計人数は 795 人です。

<図 1-1> 南第一小学校（築 56 年）



<表 1-1> 児童数（学級数） (年度)

通常学級	2022 年度	2028 年度
児童数	672	795
学級数	21	25

※特別支援学級（知的・情緒）配置を想定

(2) 新校舎建設スケジュール

南第一小学校は、2025 年度に工事を開始するため、南中学校に建設する仮校舎に移転します。2028 年度に、南第一小学校の位置に建設する新校舎が完成し、使用を開始します。

<表 1-2> 建替えスケジュール（南第一小学校） (年度)

区分	対象	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
単独建替え	南一小	既存校舎		新校舎建設			☆新校舎使用	
	南中		仮校舎建設	仮校舎				

(3) 仮校舎の位置

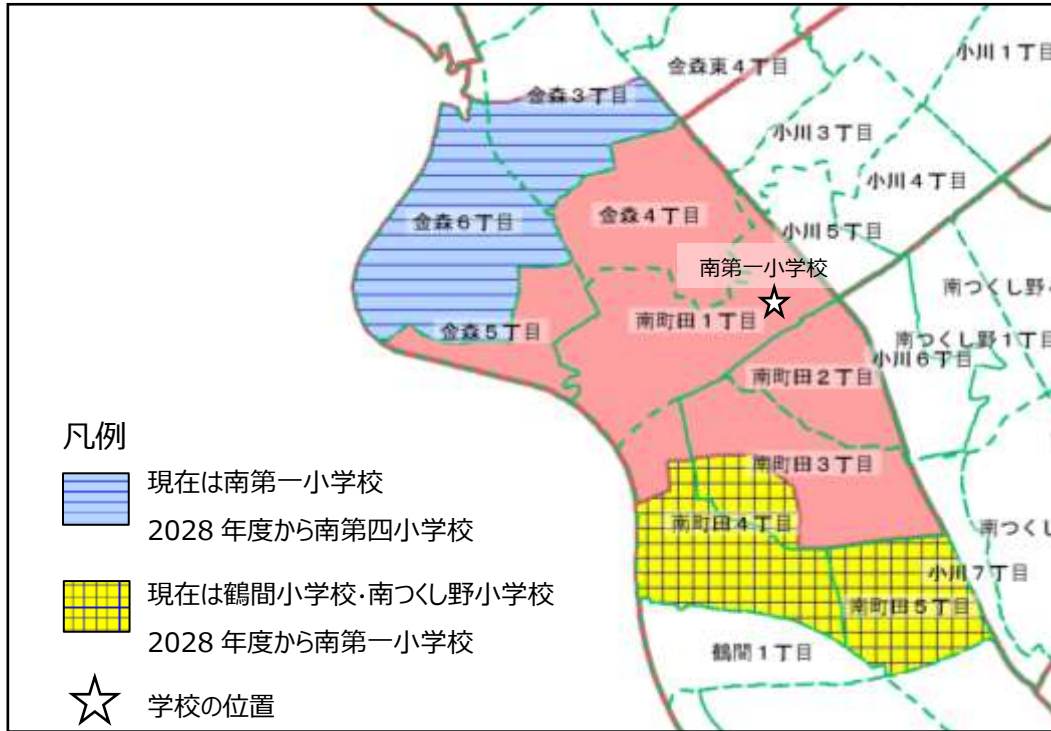
校舎建替え中の仮校舎は、学区内にある南中学校の位置に建設します。南第一小学校の校庭に仮校舎を建設すると体育の授業や放課後活動、休み時間の遊び場などのスペースがなくなり、教育活動に大きな影響が生じます。児童が長時間生活する学校環境を大切にしたいと考え、南第一小学校の学区内であり、市内でも他の中学校に比べて広い校庭を持つ南中学校に仮校舎を建設します。

(4) 新たな通学区域

2028年度の新校舎使用開始のタイミングで通学区域が変わります。

現在、鶴間小学校と南つくし野小学校の通学区域である、南町田4、5丁目が南第一小学校の通学区域に加わり、金森3、6丁目は南第四小学校の通学区域となります。

<図 1-2> 新たな通学区域図



(5) 新たな学校の建設地

<図 1-3> 南第一小学校の校地状況（要図の変更）



【特徴】

- ・敷地周辺は戸建住宅・集合住宅による街並みが形成されており、落ち着いた環境
- ・公民館や神社、歩行者のための路地等があり、地域の人々に愛着のある要素も点在
- ・敷地内にある大きなケヤキはシンボルツリー

住所：東京都町田市南町田1-10-1

地域地区：第一種中高層住居専用地域

敷地面積：13,650.55㎡

容積率/建ぺい率：200%/60%

(6) 新たな学校の運用体制について

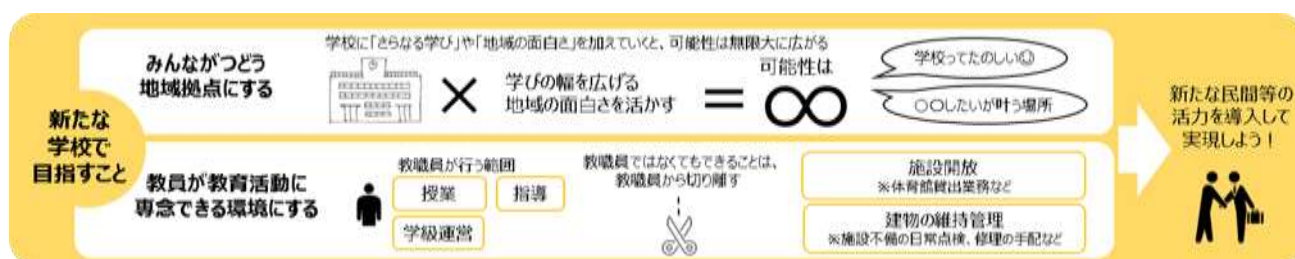
教育委員会は、新たな学校をつくる中で2つのことを目指し、学校の運用体制の検討を進めています。1つ目は、子どもにとっても地域の方にとっても、学校がさらなる学びや地域の面白さを活かせる地域の拠点になること、2つ目は教員が教育活動に専念できる環境にすることです。

学校が地域の拠点となることについては、子ども専用区画と地域に開放する区画にしっかりとセキュリティラインを設け、子どもたちが使っていない時間は地域の方が一部の教室などを利用して活動できるようにしていきます。さらに、地域に開放する区画を利用して、子どもの課外授業や習い事、地域の方が参加するプログラムの展開など、子どもが新たな学校でできる活動を増やすとともに、みんなの学びやつながりのきっかけづくりをしていきます。

また、このような取組みが、多忙化する教員のさらなる負担とならないよう、教員ではなくでもできる学校施設の開放に関する事務や建物の維持管理は教員以外の民間等が行う体制をつくっていきます。

これらを実現するため、民間等のノウハウを活用した運用面の仕組みを検討していきます。

<図 1-4> 新たな学校で目指すこと



《参考》 学校施設の利用に関するアンケート

学校施設を地域施設として利用する可能性のある方に向けて行うアンケート調査（2022年8月15日～9月16日実施）について、検討会では内容と結果を情報共有しました。

<表 1-3> 主な調査内容

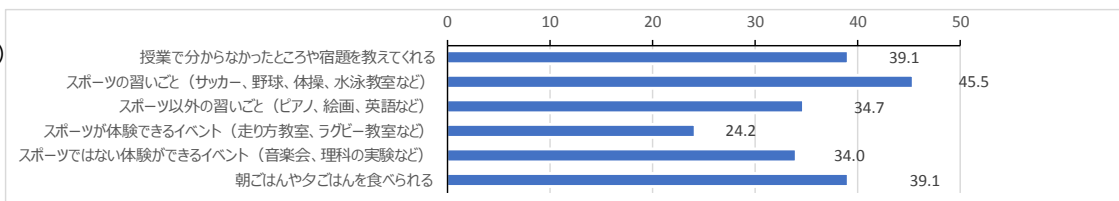
対象者	調査内容
1 児童	①学校や学年 ②学校でやってみたいこと、できたら嬉しいこと
2 保護者	①お子さまの学校や学年、お住まいの地域、普段利用している公共施設（属性） ②学校施設で受けたいサービス ③学校施設を利用したいか ④どの場所（ex.体育館・家庭科室・音楽室・理科室）で何がしたいか
3 地域（未就学児保護者）	
4 地域（町内会・自治会）	
5 学校開放の利用団体	
6 近隣の公共施設の貸し会議室等を利用している団体	
7 上記以外の市民	

<表 1-4> 調査結果（抜粋）

●問 学校施設を活用して受けたいサービスは何ですか。

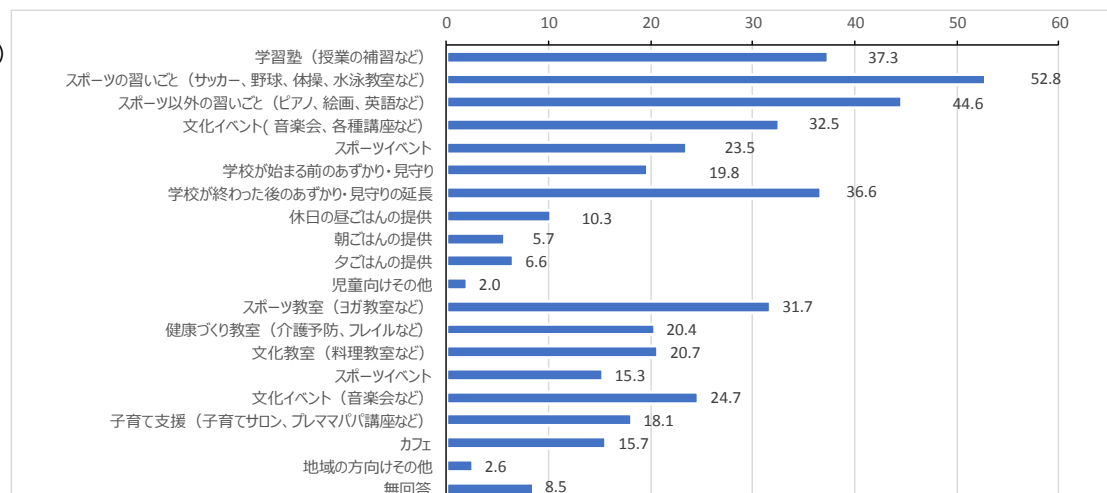
児童

(n=2024)

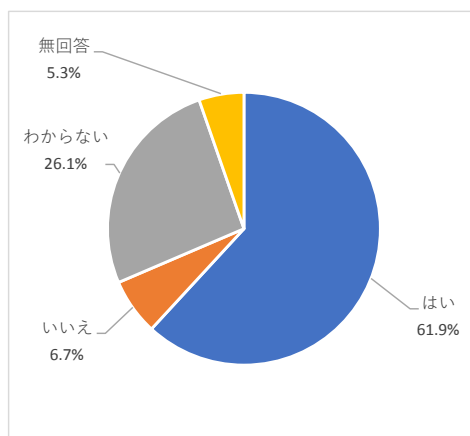


児童以外

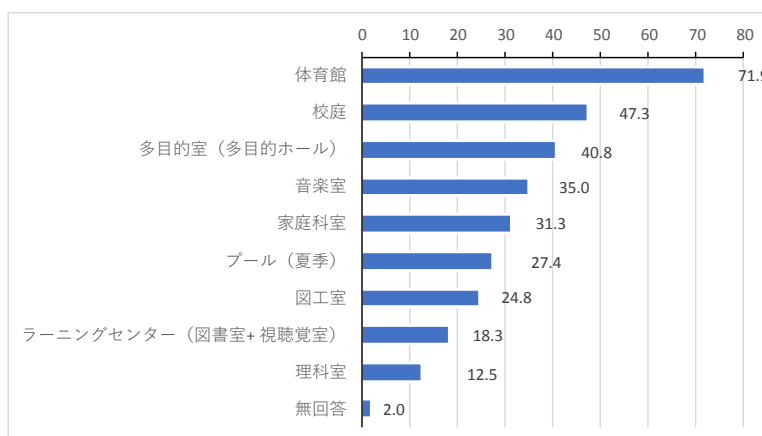
(n=1463)



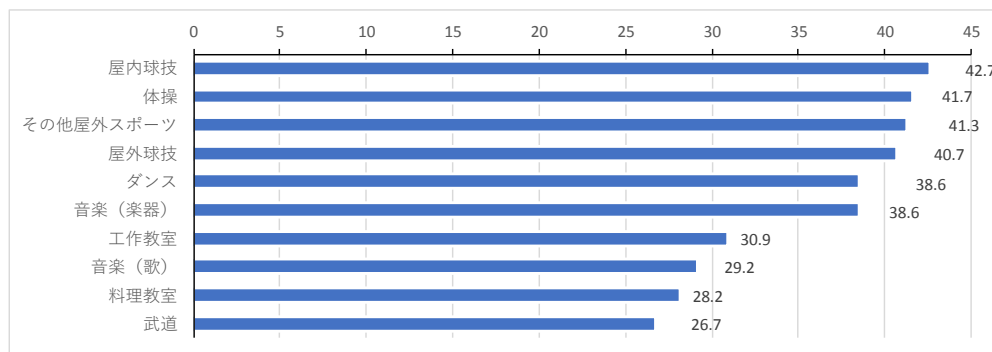
●問 新しい学校を利用したいですか。（n=1,463）



●問 どの場所を使って何をしたいですか。（活動場所）（n=905）



●問 どの場所を使って何をしたいですか。（活動内容）（n=905） 上位10位を抜粋



2 新たな学校の施設整備内容について

南第一小学校地区の新たな学校の施設整備内容について、複数の施設配置イメージ図を参考に、児童の教育・生活環境の場である学校施設を前提としながら、「地域開放」「防災」「放課後活動」などの観点から検討しました。

(1) 新たな学校の施設整備に向けて

南第一小学校の敷地は、北側は道路と接していますが、幅員は広くないため、周辺住宅への配慮が必要で、日影規制にも十分注意する必要があります。西側及び東側は道路を介さずに住宅地等と直に接する範囲が多く、学校建物による圧迫感や騒音、日当たり等の影響が大きく、配慮が必要です。南側道路は幅員が広く、歩道も整備されており、道路からも見える大きなケヤキはシンボルツリーとなっています。

このような校地の状況を踏まえ、委員からは新たな学校を建設するにあたって、学校周辺の安全性の確保や児童の教育環境が充実する施設配置についての意見が多く挙がりました。

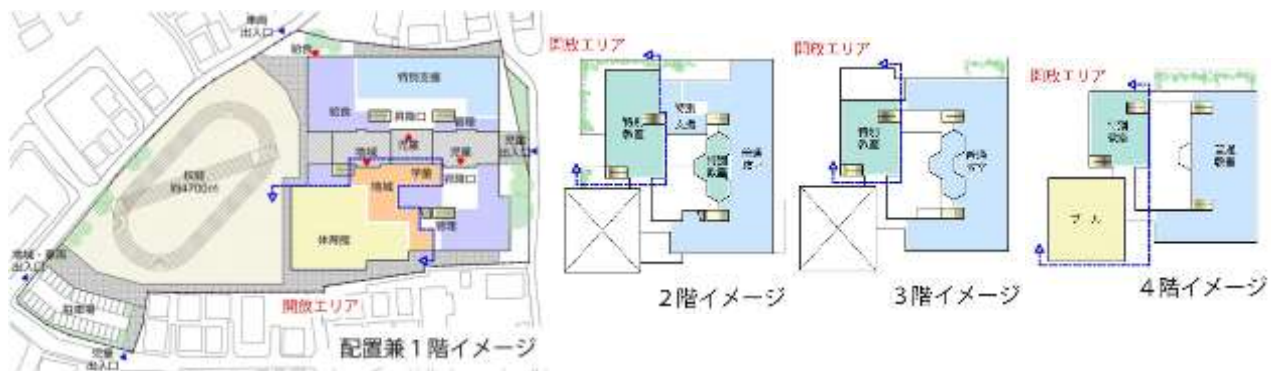
※これらのイメージ図は、新たな学校の施設配置や機能等を検討するために設計業者が参考として作成したものです。これらの案から配置を決定するものではありません。

① 配置イメージ図案

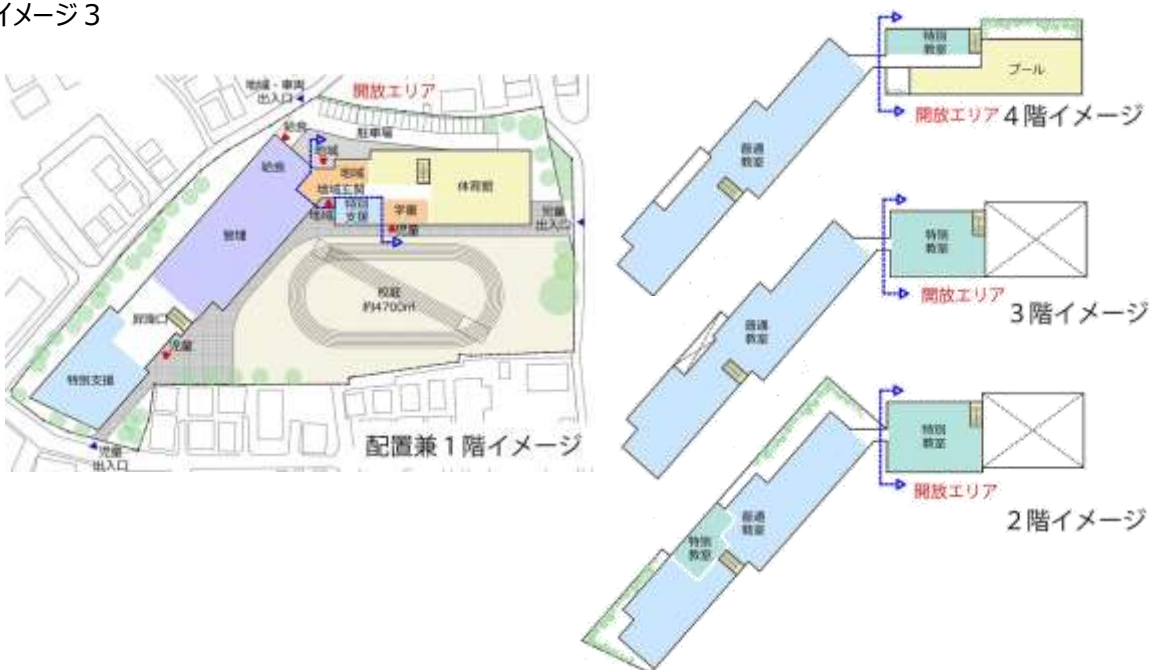
<図 2-1> 第 2 回検討会で使用した学校施設配置イメージ図
イメージ 1



イメージ 2



イメージ 3



② 各視点からの意見

＜表 2-1＞ 第 2 回検討会における意見

	イメージ 1	イメージ 2	イメージ 3
よい ところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ピロティがあるのは、雨や日差しを避けられるため良い ・校庭が南側配置のため、緊急車両が出入りしやすいのが良い ・中庭があるのは良い ・建物配置が既存と大きく変わらないため、周辺住宅にとって影響が少ないと思われるので良い ・まわりの住宅の日当たりが良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピロティがあるのは、雨や日差しを避けられるため良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館と校庭が横並びとなっているのが良い ・災害時の避難所としての広さが良い ・緊急時の避難経路を考えると C 案が良い ・児童、学童が外部に避難する場合に、道路や校庭への経路が短いので良い
気になる ところ	<ul style="list-style-type: none"> ・普通教室は真南に面しているほうがよい ・体育館と普通教室とはあまり離れないほうがよい ・体育館と特別支援の配置を入れ替えるほうがよい ・体育館を上階に配置するほうがよい ・体育館と校庭の連携があるほうがよい（災害時、運動時） ・2 つの建物が近くにあると圧迫感があり、狭く感じる ・2 つの建物間に空間が必要なため、空間に無駄が多い ・各階とも同フロアで移動がしやすいようになるとよい ・プールは体育館の上部に配置するのがよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが門にたまってしまふ ・駐車場から建物の開放エリアの諸室までの動線が長い ・地域・車両出入口は利用者のために、建物の近くがよい ・車と児童の動線が重なるため危険 ・門と校舎が近いと見通しが悪いので防犯上よくない ・北側道路は狭いため、緊急車両が校庭に出入りにくい ・北側校庭は日影になる範囲の水はけの問題がある ・既存のケヤキを伐採するのはよくない ・校舎が東側敷地境界に近いため、隣地の日照権に問題がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室から校庭が見えるほうがよい ・児童が密集しないように、動線はある程度分散したいため、昇降口は 2～3 ヶ所あるとよい ・建物長さ、動線、教室の並びが長く、児童が歩く距離が長い ・南側道路から建物が近いと、不審者の進入対策が必要 ・校庭が細長い形状のため、使い勝手がよくない ・石碑等残したい物のため、中庭の等のスペースがあるとよい ・校舎が東側敷地境界に近いため、隣地の日照権に問題がある ・4 階建ては圧迫感があり、周辺住宅の環境が変わる
共通・ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・同学年 4 クラスが分断されない配置ゾーニングにしてほしい ・学年集会などで使えるオープンスペースや集会室のようなものがほしい ・本校の特徴である六角形は何かしらの形で残るとうれしい（イメージ 1 のように） ・障がいのある方に来て頂いた時の動線に配慮が必要（出入口・廊下・教室や体育館） ・既存の校庭の舗装は新しい舗装とし、雨水浸透管等の水はけの考慮も必要 ・既存のケヤキや桜は出来る限りの本数を残したい ・4 階プールは風が強くあたり寒いと思われるため、室内とするほうがよい ・プールは 4 階に配置すると、近隣からの視線の対策ができ、有効かと思う ・水深を床の上下で調整できるプールがよい ・市内のプールは全て温水化してもよいのではないか ・プールを設置しないという考えもあるのではないか。他の自治体では事例はある ・屋上を活用できるようにしたい 		

③ 配置イメージ図修正案

<図 2-2> 第 4、5 回検討会で使用した学校施設配置イメージ図
修正イメージ 1-1



修正イメージ 1-2



④ 各視点からの意見

<表 2-2> 第 4、5 回検討会における意見

	修正版イメージ 1-1	修正版イメージ 1-2
よいところ	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館と校庭が近接している配置のため、災害時の防災物資の運搬や避難所としての使用がしやすい ・体育の授業や運動会等の際に、体育館の器具庫から校庭へ物品の持ち運びがしやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校専用エリアと開放エリアのゾーニングが明確であり、日々の管理がしやすく、児童が過ごしやすと感じる ・外部で使う物品は外部倉庫で対応できるならよい（体育館の位置） ・校庭が広く確保できるため良い ・校庭が広く、花壇や畑のスペースを確保しやすいため良い
気になるところ	<ul style="list-style-type: none"> ・南側道路に面して児童出入口と地域・車両出入口が同じ位置に並んでいるのは、安全上よくない ・車両出入口は南側道路に面して無い方が安全であり、校庭面積も広く確保できる ・地域・車両出入口は、北側と南側に 2 箇所必要なのか ・学校専用エリアと開放エリアのゾーニングは明確にしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・プールは開放利用の対象とするのか ・5 階に配置すると動線が長く、利用しづらい ・学童は 1 階に配置するほうがよい ・学童は保護者の送迎を考慮すると、門からの動線が短い配置が望ましい ・地域・車両出入口（駐車場）から体育館への距離が少し遠い ・体育館から校庭までのスムーズな動線があるとよい
共通・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎の耐用年数は何年を想定しているのか → 80 年を想定している（メンテナンス改修は行う） ・子どもたちのためにもプールは残してほしい → 今後、町田市で方針を検討する ・5 階にプールを設置すると水を圧送する負担が大きいと思われるが、体育館の地下にプールを設置する案はないのか → 日光による水温の上昇がなく、温水としなければならないため難しいと考える また、地下工事は工事費が増大してしまう ・プールを設置しない場合は、防火水槽はどのように整備するのか → 地下ピットに設けること等が考えられる ・体育館は 2 階に配置すると、その 1 階部分に有効に諸室を配置できるのではないかと ・体育館は 2 階に格技場等があるような計画でもよいのではないかと → 日影規制、斜線制限のため体育館については、A-2 案は複層化できない また、A-1 案は近隣への圧迫感等の影響に考慮が必要 ・普通教室が 2 階以上の配置となり、植物の世話等を校庭で行う機会が減ってしまうのではないかと 給食室等の 1 階に配置している面積が大きい諸室を 2 階にも分散配置して、1 階に普通教室を配置する工夫はできないかと → 普通教室は 2 階以上からでも、校庭までの動線を極力短くする工夫は可能と考える 給食室はフロアを分散すると効率が悪くなるため、1 階にまとめるほうが適切と考える ・植物の世話のしやすさ等のため、2 階にテラスを設けてもよいのではないかと → テラスやデッキの設置は安全性の配慮が必要 ・南側道路に面した植栽を校庭にしてほしい → 歩道としての機能や、通学時の児童出入口等、安全も考慮して今後検討していく ・L G B T 対応については、何か考えがあるかと → トイレや更衣室は、配慮したものを設置したいと考えている 	

(2) 施設整備に関するキーワード

検討会における意見と、意見募集でいただいた意見から、施設整備に関するキーワードを項目別にまとめました。南第一小学校地区の敷地の特色を踏まえながら、2023年度以降の設計や建築において具体化していきます。

<表 2-1> 項目別キーワード

項目	施設配置に関するキーワード
教育環境・生活環境づくり	<ul style="list-style-type: none">・日当たりが良く校庭がみえる教室・同学年のまとまりがある配置・開放的で大きな図書室（ラーニングセンター）・日当たり、水はけの良い校庭・校庭以外の屋外の遊び場の確保（中庭、ピロティの活用）
放課後活動の拠点づくり	<ul style="list-style-type: none">・児童と施設利用者とのセキュリティライン確保・校庭や体育館等が使いやすい学童の配置
市民生活の拠点づくり	<ul style="list-style-type: none">・児童と施設利用者とのセキュリティライン確保・駐車場と開放エリアの動線・災害時の避難所としての広さ
安全性の確保	<ul style="list-style-type: none">・児童と車両の動線分離・南側道路からの緊急車両の出入り
南一小の特徴的な要素	<ul style="list-style-type: none">・六角校舎の思い出を引き継ぐ・校庭のケヤキの保存

3 新たな学校に引き継ぎたいもの・こと

(1) 南第一小学校の歴史

南第一小学校は 1873 年に、現在の東雲寺の位置に開曜学舎として開校しました。1887 年に現校舎の位置に南村開曜尋常高等小学校として移転し、現在に至ります。

<表 3-1> 南第一小学校の歴史

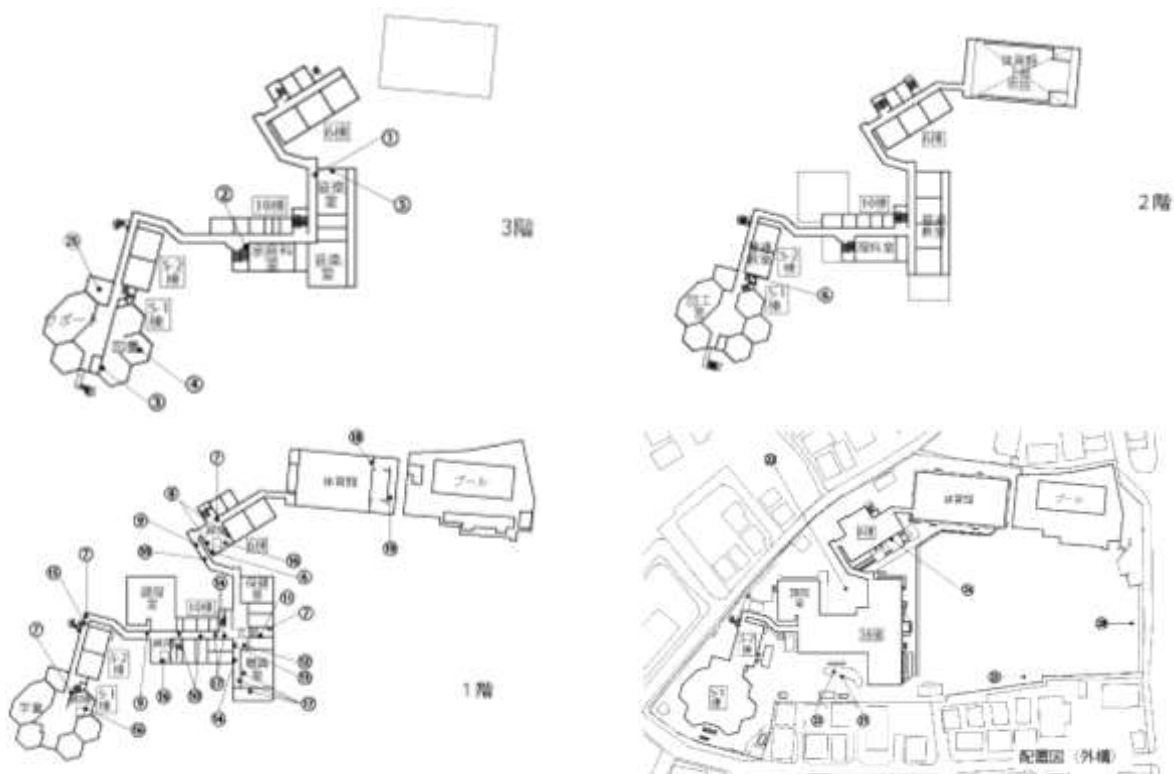
西暦	学校名
1873 年	開曜学舎
1875 年	開曜学校
1887 年	南村開曜尋常高等小学校
1908 年	南村尋常高等小学校
1941 年	南村立南国民学校
1947 年	南小学校
1954 年	町田町立南第一小学校
1958 年	町田市立南第一小学校
校舎位置：1873 年～東雲寺、1887 年～現校舎	

出典：町田市立南第一小学校 HP 沿革

(2) 引き継ぎたいもの・ことの検討

新たな学校に引き継ぎたいもの・ことについて検討するにあたり行った物品調査等の結果は以下のとおりです。

<図 3-1> 現地調査結果 校内図



<図 3-2> 現地調査結果 各物品

	① レリーフ	② レリーフ	③ 図書室 掲示板	④ 本棚サイン (各本棚の上部)	⑤ レリーフ	⑥ 写真・資料
3階						
2階	校舎設置1905年 3月24日卒業記念 (2階：×1、3階：×1) 					各階共通 匿名サイン (各室)
1階	校舎第六回 卒業制作 (×4) 	レリーフ (6枚) 	鏡、1992年度 卒業制作 (×2) 	掲示板、1995年 卒業制作 (3ヶ所) 	レリーフ、111年 59年度制作 	レリーフ、昭和56 6年卒業制作
	校舎板、卒業記念 総画、昭和55 	掲示板、平成8年度 卒業制作 (×3) 	レリーフ、創立120周年 PTA記念作品 	下足入れ クラスサイン 	賞状、写真など 	
体育館	校舎板 	糊土資料、手書き 番号機など 				
外構	ケヤキ 	糊、創立140周年 記念植樹 	緑蔭等まわり 雛型の造作 	創立80周年記念碑 一言金次郎像など 	タイムカプセル2001年 土台 昭和48年度 	西 桜

(3) 引き継ぐ方法と選別

教育活動などに関わっていただいている方々や地域の方々がこれからつくる南第一小学校地区の新たな学校に愛着をもち、引き続き、南第一小学校地区の子どもの教育活動にご協力いただけるよう、学校の歴史や想いを引き継いでいきたいと考えています。

検討会では他市の事例や4つの視点などを踏まえ、物品への「想い」と「引き継ぎ・保存・引き取り・廃棄方法」について検討しました。

《4つの視点》

- ①教育活動への利用の視点：子どもの教育のために利用できる物品か。
- ②施設的な面積の視点：学校施設（校庭や校舎など）の面積などから、教育活動に支障がないか。また、新校舎建設中の保管場所をどうするか。
- ③代替の可能性の視点：他施設等での代替が可能か。
- ④費用面の視点：引き継ぎの際に必要な移設費用等。

(4) 引き継ぎたいもの・ことのまとめ

検討会における検討の結果、各物品についての方針は以下のとおりです。なお、行事や活動などの引き継ぎたいことについては、単独建替えのため引き継ぐことを前提とし、検討の対象外としました。

検討会での以下の意見を踏まえて、物品の引き継ぎ作業を行っていただくとともに、新たな学校に通う児童や地域の方々が今までの歴史を感じ、愛着をもてるような配慮や工夫を検討してください。

<表 3-2> 引継ぎ方法の一覧表

分類	No.	項目	継承・保存等の方向性
レリーフ	1	レリーフ	デジタル保存の後、破棄
	2	レリーフ	
	3	図書室 掲示板	
	5	レリーフ	
	8	レリーフ (6枚)	
	11	59年度制作 レリーフ 111年	
	15	創立120周年PTA記念作品 レリーフ	
サイン	共通	室名サイン (各室)	デジタル保存の後、破棄
	4	本棚サイン (各本棚の上部)	
	16	下足入れ クラスサイン	
卒業制作	6	199年3月24日卒業記念 校舎配置図	デジタル保存の後、破棄
	7	2009年度卒業制作 校舎案内図	
		2008年度卒業制作 校舎案内図	
		2008年度卒業制作 校舎案内図	
		2007年度卒業制作 校舎案内図	
	9	1992年度卒業制作 鏡	
	10	1995年卒業制作 掲示板	
	12	昭和56 6年卒業制作 レリーフ 111年	
	13	卒業記念彫書 昭和55年 校歌板	
14	平成8年度卒業制作 掲示板		
22	植栽帯まわり 顔型の造作		
賞状、写真 郷土資料	17	賞状、写真など	現物保存
	19	郷土資料、手巻き蓄音機など	現物保存
	26	写真・資料	デジタル保存の後、破棄
校歌板	18	校歌板	現物保存
樹木	20	ケヤキ	現物保存
	21	創立140周年記念植樹 柿	デジタル保存の後、伐採
	25	桜	
石碑系	23	創立80周年記念碑、二宮金次郎像など	デジタル保存の後、破棄
	24	タイムカプセル2001年、土台 昭和48年度	

4 新たな学校における育てたい子ども像

(1) 教育課程・教育目標とは

町田市立小・中学校においても、学習指導要領に基づいて各学校で教育目標を定め、それを達成するための教育計画を示した教育課程を毎年作成しています。

《南第一小学校の教育目標》

多様な人との協働的なかかわりを通して、自分のよさを創造的に生かし自らの生活をよりよく切り拓く態度の涵養と、主体性や自律心を備え予測困難な社会を逞しく生き抜く児童の育成を図る。

○深く考える子ども 【聡慧に】

自分で学ぶ みんなで学ぶ

○粘り強い子ども 【精励に】

自分のよさを知る みんなのよさを大切にする

○助け合う子ども 【懇篤に】

違いを認める 力を合わせる

○元気な子ども 【勇健に】

星空 太陽 外遊び

(2) 育てたい子ども像の検討

南第一小学校地区の新設校に通う子どもたちにどのような子どもに育ててほしいか、これを実現する教育理念をどのようなものにするか、意見募集を実施し、それをもとに検討しました。

① 意見募集結果

問：南第一小学校地区の新たな学校に通うことで、どんな子どもに育ててほしいと思いますか。（全体回答数：258）

<自由記述>

No.	新たな学校でどんな子どもに育ててほしいか	回答数	割合
1	のびのび元気	37	14.3%
2	優しい、思いやり	28	10.9%
3	自分で考えて行動する	16	6.2%
3	礼儀正しい、挨拶ができる	16	6.2%
5	様々な価値観を認め合える	11	4.3%
5	地域とのつながりをもつ	11	4.3%
5	広い視野をもつ	11	4.3%
8	色々なことに挑戦する	10	3.9%
8	友達が多い、友達を大切にする	10	3.9%
	その他意見：自由な発想、自分の意見を持つ、素直、一生懸命取り組む、人とのつながりを大事に、正義を貫く、文武両道 等	108	41.9%
	合計	258	100.0%



② 検討会での意見

- ・自分で考えて動ける子
- ・活動的でのびのびとした元気な子
- ・自分の力でしっかり生きていける力のある子
- ・自分で考えて理解できるような頭のいい子
- ・たくましく自分の力で生きていける自立した子
- ・自分の考えを持ってしっかり行動できる子
- ・多様性を受け入れて協力し合える子

(3) 育てたい子ども像の実現に向けて

検討会では自分の力で考え、生きていける子、多様性を受け入れ、協力できる子などの意見が挙がりました。また、窮屈過ぎない伸び伸びとした教育をしてほしい、社会に出ることに備えた危機管理を教えてほしい、地域の方と交流する機会を持ってほしいなど、育てたい子ども像の実現のためにしてほしいことも意見が挙がりました。

検討会での意見や意見募集の結果は、教育目標や、毎年作成する教育課程等に活用していくようお願いします。

5 通学路の安全対策・通学の負担軽減

南第一小学校は、2025 年度に直線距離で約 700mの場所に位置する南中学校の仮校舎に移転する際と、2028 年度に現在の校舎の位置に建設する新校舎に戻ってくる際に通学区域の変更を行うことから、2 回ほど新たな通学路を設定する必要があります。

これらに伴い、児童が安全に学校に通うための対策や、通学距離が長くなる児童の通学の負担軽減について検討しました。

(1) 通学路の安全対策

通学の安全対策については、「通学路の整備などの道路の安全対策」と「道路事情以外の安全対策」について検討しました。

① 想定通学路及び意見

2025 年度の南中学校の仮校舎への通学路と、2028 年度に新たに加わる地域の通学路について検討しました。

現在の通学路は、通学路安全点検などで道路管理者、交通管理者とともに安全対策を行っていることから、基本的には現在の通学路を活用することとし、新たな通学路として想定できる道を確認するとともに、危険と思われる箇所と安全対策についてまとめました。

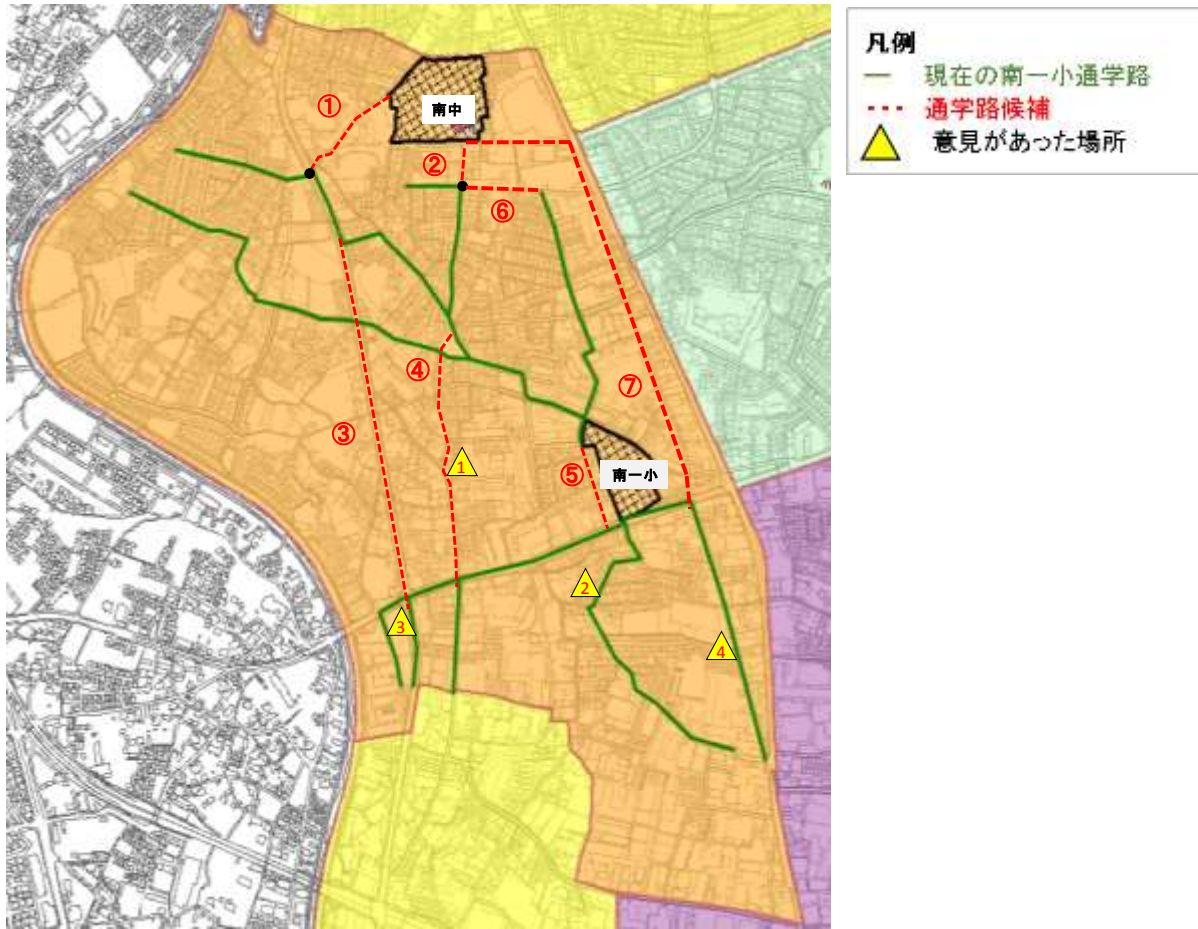
《検討事項》

- ① 想定通学路：通学路になりえる道はどこか。
- ② 通学路の安全：想定する通学路に道路事情を踏まえた危険な箇所があるか。

《参考》用語説明

用語	説明
通学路	法令において「児童が小学校（特別支援学校の小学部を含む。）に通うため、1 日につきおおむね 40 人以上通行する道路の区間」のほか「児童が小学校に通うため通行する道路の区間で、小学校の敷地の出入口から 1 キロメートル以内の区域に存し、かつ、児童の通行の安全を特に確保する必要があるもの」とされています。町田市立小学校においては、毎年度、児童の分布や道路の交通状況等を勘案して学校長が通学路の指定及び通学路図を作成しています。
スクールゾーン	児童の通学時間帯で警察が指定した時間帯に車両の通行が規制される道路のことを指します。
グリーンゾーン	「グリーン舗装」と呼ばれており、学校からおおむね 500m以内で、約 40 名以上の児童が通学する区間の外側線がある場所に設置しています。設置するためには沿道住民の許可などの基準がありますが、通学路であることを視覚的によりわかりやすくする効果があります。

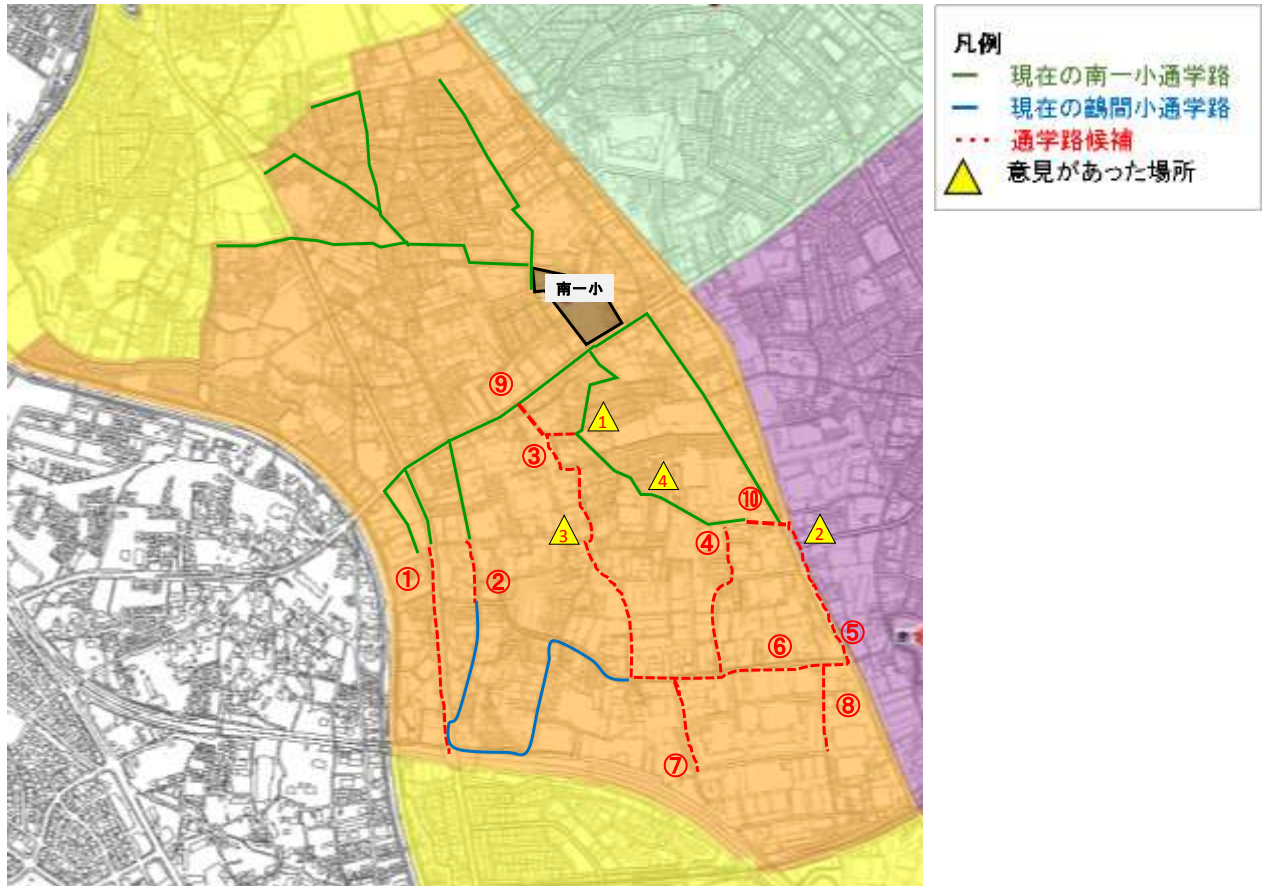
<図 5-1> 2025 年度の通学区域と想定通学路



<表 5-1> 通学路接続候補案（2025 年度）の箇所と意見等

	地図上の番号	箇所名・所在地	意見・提案等	対策要望事項
通学路候補	①	セブンイレブン金森南店前から南中へ方面	-	
	②	都営住宅脇	-	
	③	鶴間町谷通りから西田峯山公園方面へ	歩道が整備されている 歩道を自転車を通らないように警察に言う	警察からの指導
	④	セブンイレブン南町田1丁目店前から	見通しが悪く歩道が狭い よく飛ばしている車がいる危険	旗振りの配置
	⑤	南第一小学校付近	-	
	⑥	三和から都営住宅方面へ	通学路が途切れているので、南中までつなげる	
	⑦	町谷原通りから南郵便局前を経由して三和方面へ	歩道がなく道幅が狭いところがある	見守りの配置
ご意見	-	全体共通	自転車危ない どこを通っても安全に通える通学路が望ましい 道路にグリーン等で塗る スクールゾーンは道路の色を変えて欲しい 通学路の歩き方を含めた指導を学校できっちりと 2028年の③の候補案を、2025年も通れるようにしてほしい 登校班を設ける 旗振り、見守りが必要 不審者対策も必要 仮設に通うのは短期間で整備が間に合わないかも	警察からの指導 見守りの配置 道路管理者への要望 学校での歩き方指導 PTA、地域住民との協力
	▲1	地藏前の横断歩道	お地藏さん前の横断歩道付近、よく飛ばしている車がいる危険	旗振りの配置
	▲2	住宅地の時間規制	登校時だけ一方通行になっているところはどこか	
	▲3	豆腐屋付近の交差点	過去に事故があったところ	
	▲4	スピード落とせの看板	看板だけでなく道路にも工夫を	道路管理者への要望

<図 5-2> 2028 年度の通学区域と想定通学路



<表 5-2> 通学路接続候補案（2028 年度）の箇所と意見等

	地図上の番号	箇所名・所在地	意見・提案等	対策要望事項
通学路候補	①	南町田北交差点から鶴間町谷通り	歩道が整備されている	
	②	鶴間小の通学路と南一小通学路の接続①	狭いが歩道がある	旗振りの配置 学校での歩き方指導
	③	鶴間小の通学路と南一小通学路の接続②	③は新しく書いてあるが、危険なところもあるので指定することで安全対策をしてほしい	道路管理者への要望
	④	ふよう病院付近から住宅地		
	⑤	小川原の交差点から町田街道	⑤信号も歩道もあるし安全。通る子は少ないかもだが。	
	⑥	小川原の交差点から芙蓉園方向		
	⑦	ガーデンセシア付近①		
	⑧	ガーデンセシア付近②		
	⑨	③候補案と南一小通学路の接続	③から田園保育園への道を通学路にしてほしい	
	⑩	⑤候補案と南一小通学路の接続		
	-	全体共通	通学路に指定した細い道路は、時間指定で通れなくする通学路がみえにくい、わかりにくい 看板だけでなく道路の色分けなどが必要	道路管理者への要望
ご意見	▲1	南一小付近の時間指定道路	時間指定の看板はもっと目立つように	道路管理者への要望
	▲2	小川交差点付近	⑤と緑線のつながり、旗振りが交差点に立つと良い	旗振りの配置
	▲3		③-2の先、右折したところが危ない、木でミラーが見えない	旗振りの配置
	▲4		③近くのアドグランデ南町田から南町田ハートフル歯科のところは、駐車場が出来て道が狭い	見守りの配置

② 通学路の安全対策の要望に向けて

南第一小学校地区は、交通量や歩行者量に対して狭い道が多い地域です。また、2025年度から南中学校に位置する仮校舎への通学が始まると、小学生と中学生が同じ道を通るため、歩行者量が増えます。仮校舎への通学は3年間限定であることから、道路や通路等のハード面の整備が難しいことが想定されるため、見守りの配置や登校班の設置、学校での安全教育など、ソフト面に対応していくことが必要になります。また、2028年度に新たに加わる地域も含め通学路候補については、子ども達が安全に学校まで通学できるようハード、ソフト両方の面から改善の対策をお願いします。

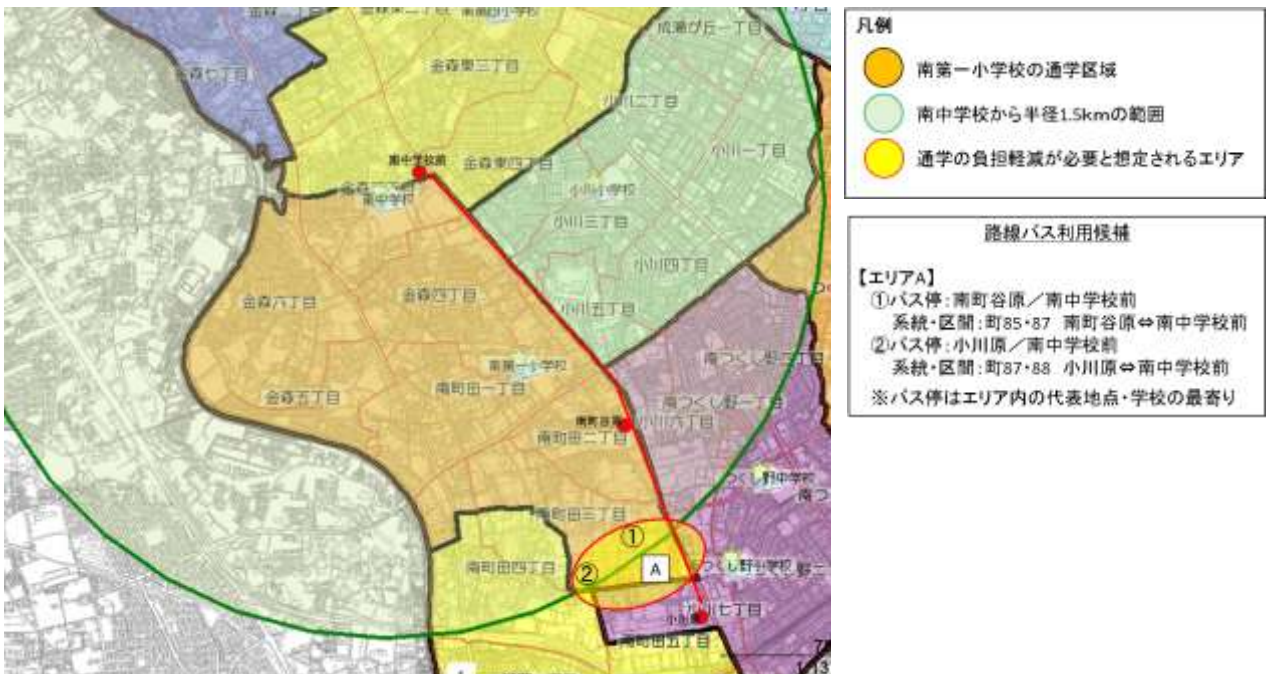
(2)通学の負担軽減

南第一小学校地区では、2025年度に南中学校の位置にある仮校舎に通う際に、通学時間が長くなる地域があります。検討会では、通学区域及び通学距離、教育委員会の通学の負担に関する考え方を踏まえて、検討を行いました。

① 通学負担の軽減が必要と想定される地域

徒歩による通学が基本ですが、2025年度の通学区域においては、現行の通学費補助制度も踏まえ、学校の位置から概ね1.5km以上離れた地域を対象に、通学の負担軽減を検討することとしました。

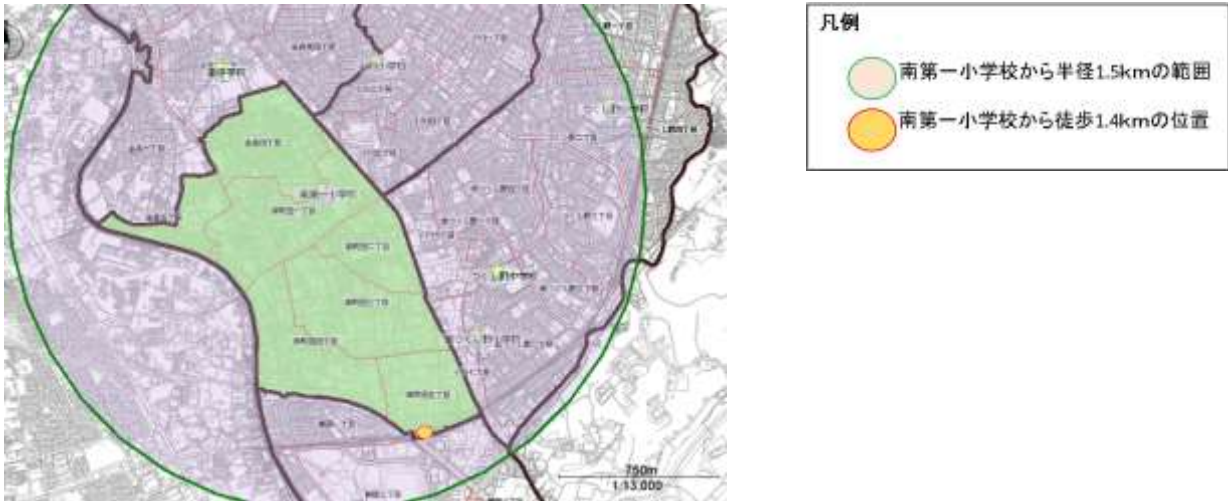
<図 5-4> 2025年度の通学区域と1.5kmの線



《参考》 2028 年度の通学区域

2028 年度以降は、通学距離が 1.5 kmを超える地域はありません。

<図 5-5>2028 年度の通学区域と 1.5 kmの線



② 公共交通機関等を利用した通学の検討

教育委員会の検討の考え方としては、まず、公共交通機関による通学が可能かどうかを検討し、公共交通機関による通学ができない場合、「公共交通機関以外の通学方法」を検討する方針が共有されました。

南第一小学校地区では、公共交通機関として路線バスが想定されること、路線バスによる通学が可能かどうかを教育委員会において検討している評価項目の視点で調査したこと、その結果、路線バスを利用した通学が可能であると判断したとの報告がありました。

③ 今後の通学の負担軽減に関する検討

南第一小学校地区で 1.5 kmを超えるエリアに居住する児童は、路線バスの使用が可能であることからスクールバスの導入が難しいとの報告を受けました。

仮校舎に通学する間、通学距離が遠くなる児童、特に、低学年については通学に不安があります。距離や道が変わるといふ児童の心理的な負担の軽減や学校まで安全に通える安全対策をしっかりと行っていただきたいと思ひます。

6 新たな学校の学校名

(1) 新たな学校づくりにおける学校名の検討

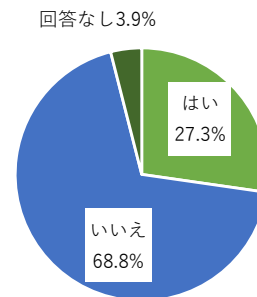
2022年5月23日から6月17日にかけて実施した、南第一小学校地区新たな学校づくり意見募集における学校名の変更に関する結果と、検討会での学校名に関する検討内容は、以下のとおりです。

① 南第一小学校地区新たな学校づくり意見募集（抜粋）

問：南第一小学校の建物が新しくなります。学校の名前も新しい名前にしたほうが良いと思いますか。
(全体回答数：429)

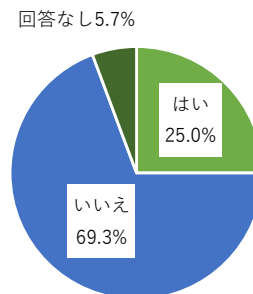
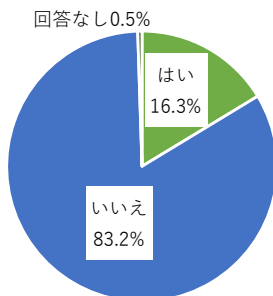
<単一回答>

新たな学校名にしたほうが良いと思うか	回答数	割合
はい（新しい名前が良い）	117	27.3%
いいえ（名前は変えないほうが良い）	295	68.8%



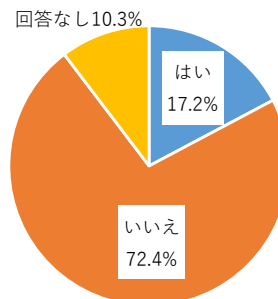
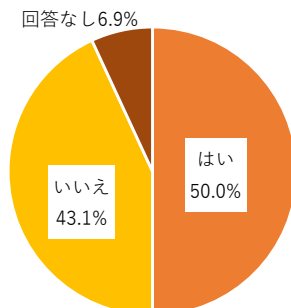
南第一小学校の5、6年生（全体回答者数：196）

南第一小学校の児童の保護者（全体回答者数：88）



未就学児の保護者（全体回答者数：116）

地域住民（全体回答者数：29）



② 検討会での意見

南第一小学校地区新たな学校づくり意見募集の結果をもとに、各委員の意見を検討会で確認したところ、新校舎使用時点で変えてもいいという意見もありましたが、変えないほうがいいという方がほとんどでした。その中で、もし、変えるのであればという学校名へお寄せいただいた意見は以下のとおりです。

- (ア) 南第一小学校の南は町田の南という意味ではない。南多摩郡南村の南。「南」の文字は残してほしい。
- (イ) 名前は変えても歴史は継承してほしい。
- (ウ) 推進計画が進み、学校統合が市内全域で整った段階で学校名については、全市的な状況に合わせて再度検討しても良いのではないか。

(2) 学校名の変更の有無

南第一小学校地区新たな学校づくり意見募集の結果と、各委員の意見を確認し、南第一小学校地区新たな学校づくり基本計画検討会においては、2028年度新校舎使用開始時での学校名の変更は行わないこととしました。

7 新たな学校づくりに関連した情報

町田市で検討を進めていく事項について、現状や課題、検討スケジュール等についての情報共有がありました。

(1) 学校が担う避難施設機能 (防災課)

学校は避難施設に指定されていることから、建替え中の避難施設の考え方について情報共有がありました。

① 近隣の避難施設に分散

防災課と自治会等で想定避難先を決め、既にその想定避難先への避難を決めている自治会等との間で調整の場を設けます。

近隣の避難施設（震災時）：南中学校仮校舎、小川小学校、南つくし野小学校、つくし野中 近隣の避難施設（水害時）：南中学校仮校舎、つくし野中

② 避難場所の拡充の検討

避難施設になっている学校の空き教室の開放、現在避難施設に指定されていない施設（民間施設も含む）の活用、避難広場にテントを張れるようにするなどの拡充を検討します。

③ 2028年以降の南第一小学校の避難施設機能

新校舎も、避難施設として活用します。他地区と同様に南第一小学校を想定避難先としている自治会等と避難所の開設等について調整していきます。

(2) 学童保育クラブ (児童青少年課)

仮校舎移転に伴う学童保育クラブについて情報共有がありました。

① 新校舎建設中の学童保育クラブ

新校舎建設中は、南中学校の仮校舎で学童保育クラブを実施します。

② 今後のスケジュールについて

学童保育クラブの施設整備方法・管理運営方法・登降所に関する課題については、関係部署と連携しながら検討していきます。

(3) 特別支援学級（教育センター）

今後の小学校特別支援学級配置の考え方について情報共有がありました。

① 新たな学校づくりにおける特別支援学級の設置の考え方

ア 「知的障がい特別支援学級」及び「自閉症・情緒障がい特別支援学級」

⇒全小学校への設置を目指して、建替え時に設置する

イ 「肢体不自由特別支援学級」

⇒新たな学級整備は行わない

以上の考え方に基づき、南第一小学校では、「知的障がい特別支援学級」及び「自閉症・情緒障がい特別支援学級」の設置を予定しています。

<表 7-1> 特別支援学級等設置スケジュール

対象校	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
	既存校舎						新校舎使用			
南第一小				(新校舎建設)			知的学級(新設)	情緒学級(新設)		

8 参考

(1) 南第一小学校地区 新たな学校づくり基本計画検討会

① 町田市新たな学校づくり基本計画検討会設置要領

(趣旨)

第1 この要領は、町田市新たな学校づくり推進計画（以下「推進計画」という。）に基づく新たな学校づくりを推進するにあたり、新たな学校づくり基本計画（以下「基本計画」という。）を策定するために必要な事項を検討する新たな学校づくり基本計画検討会（以下「検討会」という。）の設置及び運営に関して必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2 検討会は、推進計画の期間内に新たな学校づくりに着手する学校ごとに設置する。

2 検討会の設置期間は、設置の日から検討結果を町田市教育委員会（以下「教育委員会」という。）に報告する日までとする。

(検討事項)

第3 検討会は、新たな学校づくりに関する次に掲げる事項のうち必要な事項について検討し、その結果を、教育委員会に報告する。

- (1) 統合新設校の統合準備に関すること
- (2) 新たな学校づくりにおける学校の施設、設備の整備等に関すること。
- (3) 前各号に掲げるもののほか、新たな学校づくりに必要な事項に関すること。

2 検討会は、前項の規定による検討を行うため必要な範囲において、広報、調査、意見の募集その他の活動を行うものとする。

(組織)

第4 検討会の委員（以下「委員」という。）は、推進計画の期間内に新たな学校づくりに着手する学校ごとに次に掲げるものをもって充て、教育委員会が委嘱する。

- (1) 新たな学校づくり対象校の学校運営協力者の代表 各校2名以内
- (2) 新たな学校づくり対象校の保護者の代表 各校3名以内
- (3) 新たな通学区域内の地域の代表 2名以内
- (4) 新たな学校づくり対象校の教職員の代表者 各校2名以内
- (5) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める者

(任期)

第5 委員の任期は、委嘱をした日から検討会の検討結果を報告する日までとする。

(会長及び副会長)

第6 検討会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、第4の(4)に規定する者の中から、各1名定める。
- 3 会長は、検討会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7 検討会の会議(以下「会議」という。)は、必要に応じて会長が招集する。ただし、会長が選任される前に招集する会議は、教育委員会が招集する。

- 2 会議は、委員の過半数の出席により開催する。
- 3 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者を出席させることができる。

(守秘義務)

第8 委員は、職務上知ることができた秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(意見の聴取等)

第9 検討会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めて意見を聴取し、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第10 検討会の庶務は、教育委員会学校教育部新たな学校づくり推進課において処理する。

(その他)

第11 この要領に定めるもののほか、検討会に関し必要な事項は、会長が検討会に諮り、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は、会長の決すところによる。

② 委員名簿

選出区分	学校名・役職等	氏名(敬称略)
対象校の児童 又は生徒の保護者の代表	南第一小学校 PTA 会長	永田 愛
	南第一小学校 PTA 副会長	大久保 明
対象校の 学校協力者の代表	南第一小学校 学校運営協議会会長	大原 龍一
	南第一小学校 学校運営協議会副会長	村松 由里
地域代表	町谷町内会会長	細野 利雄
	原町内会会長	橋本 晃
対象校の教員の代表	南第一小学校 校長	安東 深雪
	南第一小学校 副校長	秋場 栄美

(2) 新たな学校づくり基本計画検討会の経過

日にち	内容
5月9日	第1回（仮称）南第一小学校地区 新たな学校づくり基本計画検討会 1 （仮称）南第一小学校地区新たな学校づくり基本計画検討会について 2 新たな学校づくりについて 3 基本計画検討会の検討事項及びスケジュールについて 4 敷地の特徴と南第一小学校内に仮設校舎を設置する場合の想定配置について 5 通学路の安全対策と通学の負担軽減の検討に向けた現状の共有について 6 新たな学校づくり意見募集の実施について 7 次回検討会について
5月23日 ～6月17日	「南第一小学校地区新たな学校づくり意見募集」実施
6月20日	第2回 南第一小学校地区 新たな学校づくり基本計画検討会 1 南第一小学校地区の新たな学校の施設整備について 2 通学の負担軽減について 3 通学路の安全対策の検討に向けた事前確認について
8月1日	第3回 南第一小学校地区 新たな学校づくり基本計画検討会 1 新たな学校の施設整備のまとめについて 2 通学路の安全対策について 3 意見募集の結果について 4 学校名変更の有無について 5 需要調査アンケートについて
8月15日 ～9月16日	「新たな学校の運用体制に関するアンケート」実施
9月12日	第4回 南第一小学校地区 新たな学校づくり基本計画検討会 1 学校名変更の有無について 2 建物配置案 3 通学路の安全対策について 4 育てたい子ども像について 5 新たな学校に引き継ぎたいもの・ことについて 6 新たな学校づくり検討会報告書の内容確認について
10月24日	第5回 南第一小学校地区 新たな学校づくり基本計画検討会 1 新たな学校に引き継ぎたいもの・ことについて 2 建物配置案について 3 通学の負担軽減について 4 需要調査アンケートの結果について 5 新たな学校づくり基本計画検討会報告書の内容確認について
1月23日	第6回 南第一小学校地区 新たな学校づくり基本計画検討会

(3) 検討内容補足資料

① 学校づくり意見募集の結果

南第一小学校地区新たな学校づくり基本計画検討会において、新たな学校の施設面や育てたい子ども像、引き継ぎたいもの・こと、学校名について、児童や保護者、地域住民に意見を幅広く聞き、その内容を確認しながら検討を進めるため、意見募集を実施しました。

ア 実施期間

2022年5月23日（月）～6月17日（金）

イ 回答者数等

対象者	調査票送付者数	回答者数（回答率）	配布・周知方法
児童	669	581（86.8%）	学校を通じて配布
児童の保護者	669	88（13.2%）	学校を通じて配布
未就学児の保護者	748	116（15.5%）	郵送
地域住民	196（自治会数14）	29（14.8%）	町内会・自治会（代表者へ郵送）
教員	27	10（37.0%）	学校を通じて配布
合計	2,309	824（35.7%）	

※町田市ホームページ・広報紙でも周知

ウ 調査結果（抜粋）

<現在の学校に関する質問>

問1：あなたの学校のお気に入りの場所をおしえてください。

<自由記述>

No.	学校のお気に入りの場所	回答数	割合
1	校庭	145	18.5%
2	図書室	138	17.6%
3	体育館	113	14.5%
4	教室	71	9.1%
5	図工室	41	5.2%
6	中庭	30	3.8%
7	音楽室	29	3.7%
8	ケヤキ	29	3.7%
9	遊具	23	2.9%
10	プール	20	2.6%
	その他意見：理科室、家庭科室、屋上、廊下、トイレ、保健室、給食室、花壇、学童、木、六角校舎、算教室、PC室、等	143	18.3%
	合計	782	100.0%

問2：南第一小学校の施設面で良い部分を教えてください。

<自由記述>

No.	学校の施設面で良い部分	回答数	割合
1	校庭が広い	29	22.3%
2	六角校舎	13	10.0%
3	遊具、ブランコがある	9	6.9%
4	給食室での調理、美味しい	8	6.2%
5	学童の併設	6	4.6%
6	トイレがきれい、トイレが多い	5	3.8%
7	仮校舎の場所がよくない	4	3.1%
7	大きな図書館、図書室の蔵書が多い	4	3.1%
	その他意見：緑が多い、昇降口が多い、中庭、整理整頓、エアコン、ケヤキ、正門・各門、校庭が広い、校舎の造りが珍しい等	49	37.7%
	合計	127	100.0%

問3：南第一小学校地区の新たな学校に引き継ぎたいもの、残したいものはありますか。

また、その理由も教えてください。

<自由記述>

No.	新たな学校に引き継ぎたいもの	回答数	割合
1	歴史・伝統、卒業制作の作品	15	11.5%
2	広い校庭	13	10.0%
3	ケヤキ	10	7.7%
4	木、森	9	6.9%
5	校歌	6	4.6%
5	名前	6	4.6%
7	桜	5	3.8%
7	遊具、ブランコ	5	3.8%
7	六角校舎	5	3.8%
	その他意見：学童の併設、給食室での調理、仮設校舎への通学が心配、正門・各門、他学年との交流、中庭、プール、広い図書室等	56	43.1%
	合計	130	100.0%

<新しい学校に関する質問>

問4-1：あなたの学校の中（教室や体育館、ろうかなど）にあったらうれしいものは ありますか。（いくつでも えらべます。）

<複数回答>

No.	学校の中にあるといいもの	回答数	割合
1	大きな体育館	414	20.7%
2	大きなスクリーン	359	18.0%
3	きれいな手洗い場	333	16.7%
4	広いろうか	315	15.8%
5	動かしやすい机	313	15.7%
6	大きいロッカー	264	13.2%
	合計	1998	100.0%

問5-1：あなたの学校の校庭（建物の外）にあったらうれしいものは ありますか。（いくつでも えらべます。）

<複数回答>

No.	学校の校庭にあるといいもの	回答数	割合
1	ベンチ	410	20.1%
2	芝生（しばふ）	408	20.0%
3	池	348	17.1%
4	水飲み場	337	16.5%
5	ブランコ	285	14.0%
6	花壇（かだん）	253	12.4%
	合計	2041	100.0%

問6：南第一小学校地区の新たな学校は、どのような学校になってほしいと思いますか。（新たな学校に求めるもの、あったら良いと思うものがありますか。）

<自由記述>

No.	新たな学校に求めるもの	回答数	割合
1	安全安心・セキュリティ	25	7.2%
2	地域との交流・地域開放利用	24	6.9%
3	プール、室内プール	17	4.9%
4	のびのびと過ごしやすい空間	15	4.3%
5	デジタル教育・設備	12	3.4%
5	エアコン	12	3.4%
7	広い校庭	11	3.2%
8	個性の尊重	10	2.9%
8	災害時の備え	10	2.9%
10	開放的な図書室、広い図書室	9	2.6%
	その他意見：清潔・きれいな学校、木・森、バリアフリー、たくさんの遊具、児童の収納の充実、学びやすい環境、スクールバス 等	204	58.5%
	合計	349	100.0%

問8：南第一小学校の建物が新しくなります。学校の名前も新しい名前にしたほうが良いと思いますか。

<単一回答>

新たな学校名にしたほうが良いと思うか	回答数	割合
はい（新しい名前が良い）	117	27.3%
いいえ（名前は変えないほうが良い）	295	68.8%
合計	412	100.0%

問4-2：4-1で えらんだものの ほかに あったらうれしいものをおしえてください。

<自由記述>

No.	学校の中にあるといいもの 自由に記述	回答数	割合
1	広い教室、きれいな教室	68	11.8%
2	広いトイレ、きれいなトイレ	41	7.1%
3	エレベーター	38	6.6%
4	広いプール、室内プール	24	4.2%
5	遊具（滑り台、シーソー、アスレチック、鉄棒、雲梯 等）	22	3.8%
6	エスカレーター	15	2.6%
7	大きい図書室、きれいな図書室、色々な本がある図書室	14	2.4%
7	更衣室	14	2.4%
9	大きな校庭	12	2.1%
10	広い黒板、きれいな黒板	11	1.9%
	その他意見：休憩室、水槽、広い体育館、ベンチ・ソファ、大きい学級文庫、歴史の本・きれいな本、扇風機、ゲーム部屋 等	318	55.1%
	合計	577	100.0%

問5-2：5-1で えらんだものの ほかに あったらうれしいものをおしえてください。

<自由記述>

No.	学校の校庭にあるといいもの 自由に記述	回答数	割合
1	遊具（シーソー、滑り台、アスレチック、鉄棒、ジャングルジム）	266	34.5%
2	飼育小屋	30	3.9%
2	大きなプール、室内プール	30	3.9%
4	木、森	27	3.5%
4	ターザンロープ	27	3.5%
6	トイレ、きれいなトイレ、広いトイレ	25	3.2%
7	トランポリン	23	3.0%
8	池、魚、水槽	20	2.6%
9	噴水	17	2.2%
10	砂場	15	1.9%
	その他意見：休む場所、日陰、サッカーコート・ゴール、ケヤキ、畑、バスケットコート・ゴール、秘密基地、広い校庭 等	291	37.7%
	合計	771	100.0%

問7：南第一小学校地区の新たな学校に通うことで、どんな子どもに育ててほしいと思いますか。

<自由記述>

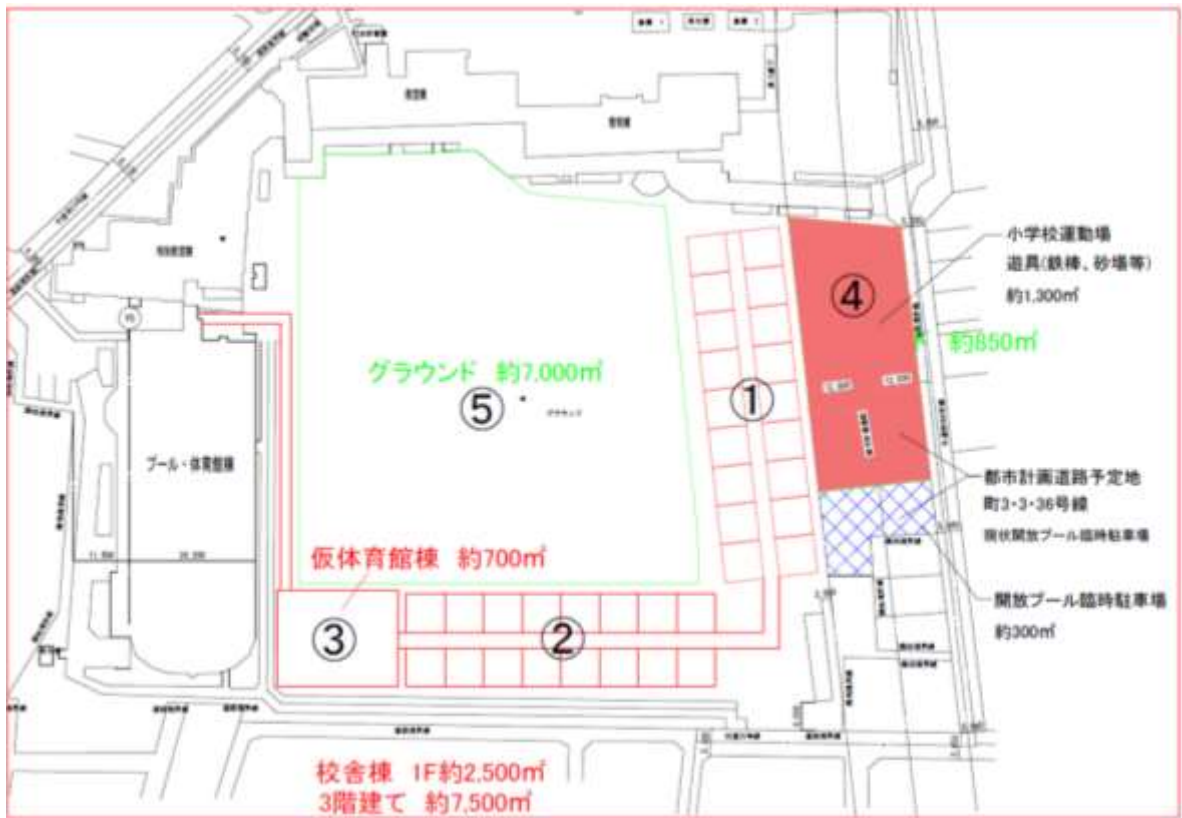
No.	新たな学校でどんな子どもに育ててほしいか	回答数	割合
1	のびのび元気	37	14.3%
2	優しい、思いやり	28	10.9%
3	自分で考えて行動する	16	6.2%
3	礼儀正しい、挨拶ができる	16	6.2%
5	様々な価値観を認め合える	11	4.3%
5	地域とのつながりをもつ	11	4.3%
5	広い視野をもつ	11	4.3%
8	色々なことに挑戦する	10	3.9%
8	友達が多い、友達を大切にする	10	3.9%
	その他意見：自由な発想、自分の意見を持つ、素直、一生懸命取り組む、人とのつながりを大事に、正義を貫く、文武両道 等	108	41.9%
	合計	258	100.0%

② 南第一小学校の仮校舎の配置案

南中学校に仮校舎を設置した場合の配置案です。仮校舎の位置、大きさ、形状は現時点の想定です。2023年度の設計で詳細な位置や大きさが確定します。

①～④は仮校舎建設時に整備します。⑤の南中学校の校庭の広さは、仮校舎設置後も7,000㎡程度確保できると想定しています。

＜図 7-1＞ 仮校舎の配置案



なお、南中学校に建設する仮校舎は、南第一小学校だけでなく、南第三小学校と南第四小学校の統合建替え時と、南中学校の単独建替え時にも使用します。

＜表 7-1＞ 南中学校の仮校舎使用スケジュール

対象	区分	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	
南一小	単独建替え	既存校舎 基本計画			新校舎建設													☆新校舎使用
南中	単独建替え			仮校舎建設	仮校舎使用			既存校舎										新校舎建設 ☆新校舎使用
南四小	統合建替え																	既存仮校舎使用 →取り壊し
南三小																		既存校舎